

令和5年度第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立大砂土東小学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和5年6月9日(金) 10:00～12:00
[場所] 第一会議室

- 2 出席 会長 山田 和幸 (堀崎町自治会長)
副会長 中浜 邦夫 (東大宮自治会長)
委員 大河戸 千鶴子 (大砂土東地区自治会連合会 顧問)
山岸 利恵 (大砂土東地区民生委員・児童委員)
高島 友行 (交通指導員)
岡本 清夫 (大和田銀座商店会 会長)
岩井 由起子 (大砂土東公民館 館長)
佐野 大 (大砂土東小学校PTA会長)
酒井 景子 (大砂土東小学校PTA副会長)
武田 泰之 (大砂土東小学校長)
林 和寛 (大砂土東小学校教頭)
西川 和利 (学校地域連携コーディネーター)
欠席 委員 畑中 俊一 (大和田町自治会長)
武藤 博昭 (学校法人梅の木学園 福寿幼稚園 理事長)
上統 昌司 (大砂土中学校 校長)

3 次第

- (1) 開会
- (2) 校長あいさつ
- (3) 委嘱状・任命書の交付
- (4) 委員自己紹介
- (5) 委員長・副委員長の選出
- (6) 学校運営に関する基本的な方針
- (7) いじめ対策委員会(生徒指導主任より)

休憩

- (8) 熟議・情報交換
- (9) 事務連絡
- (10) 閉会

4 議事概要

(1) 委員長・副委員長の選出

- ・委員長：山田和幸委員
- ・副委員長：中浜邦夫委員

(2) 学校運営に関する基本的な方針について

① 校長より 学校経営方針について説明

② 委員より

○運動会の様子から、

- ・子どもはとても頑張っていた。
- ・教職員がおそろいのユニフォームで、機敏な動きで素晴らしかった。

○施設面

- ・第2校舎の非常階段が老朽化のため、修理してほしい。

○児童について

- ・公民館では、子どもたちが元気良すぎて館内で走り回っていたが、学校に相談したらすぐに改善された。

○予算について

- ・学校は公民館と変わらない予算でやりくりしているのを知って、大変だと思った。

○教員について

- ・教師が急に休んだり、出張があったりする場合、穴埋めはどうしているのか。
- ・副担任などはいないのか。

(3) 熟議について

議題：「豊かな感性や人間性をはぐくむ教育について」

～明るくあいさつ・元気な返事の徹底の具現化に向けて～

グループ1（山田委員、大河戸委員、山岸委員、酒井委員、林委員、西川委員）

<主な意見>

- ・先生が門に立っていると、挨拶のモチベーションが全く違う。特に校長先生。
- ・挨拶がどういうものか、教師が見本を見せて欲しい。
- ・通学班で集まったら挨拶の習慣をつけたい。
- ・大きい声が出しづらい子もいる。その子に合わせて褒める声掛けを。
- ・保護者の方からの挨拶をもっと活発にしたい。
- ・親が厳しく挨拶を躾けることも大事。
- ・いってきます、ただいま等の家の挨拶が大事。
- ・送り出しの際の明るく気持ちいい挨拶。「挨拶するのよ！」の一言。
- ・子どもの感性を大事にしてほしい。感じ方まで押し付けるのも問題。

- ・挨拶するメリットの実感をもたせたい。
- ・挨拶はカッコいいことだと見本を見せる。
- ・挨拶をしない子が悪い子とは限らない。
- ・子どもから先に挨拶することを求めてよいものか。大人からでもいいのではないか。

グループ2（中浜委員、岡本委員、岩井委員、佐野委員、武田委員）

<主な意見>

- ・子どもたちは知らない人たちになかなか挨拶ができない。
- ・大人が挨拶をすると子ども挨拶を返してくれる。
- ・PTAの腕章をどんどんつけて、信頼できる大人が誰かをはっきりさせる。
- ・施設に入るとき、保護者が挨拶をする家庭は子どもも挨拶をする。保護者から挨拶をするとよいのではないか。
- ・通学路のポイントに立って、顔を覚えてもらい、挨拶ができる雰囲気を作る。また、地域の活動を増やすことで、顔を覚えてくれると挨拶をしてくれるのではないか。
- ・自分の地域を好きになってもらえるといいのではないか。

上記意見を受け、熟議で出された内容を、学校運営協議会委員自身が行き組んでいく。また、委員が今回出された取組について、家庭、地域、学校で広めていく。

（4）事務連絡

- ・特になし

5 今後の方向性

- ・あいさつに関する児童の取組を運営協議会で報告する。
- ・家庭、地域、学校で本日の熟議の内容を広め、挨拶の取組について考える。

6 次回開催予定〔日時〕 令和5年11月30日（木）10:00～12:00 〔場所〕 第1会議室